

令和3年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文小学生の部 県知事賞 優秀賞

「大切な命のために」

鹿児島県 鹿児島市立福平小学校 3年 齋藤 貴心

今年も8月6日がきました。この日がくると毎年母が、「8・6水害があった日だね。」と言います。私はこの8・6水害のことを知りません。母にその時のしゃしんを見せてもらおうと、私も通ったことのある道や町は水にしずんでいました。天文館にある祖父母の会社には、この日にどこまでしん水したかテープでしるしがつけてありました。私の頭までつかるくらいの高さで、とてもこわく感じました。祖父はかたまで水につかりながら、会社から家まで帰って来たそうです。生きて帰れて本当に良かったです。でも、この大雨では土しゃくずれや川のはんらんがあちこちで発生して、多くの人びとが命をうばわれたり、けがをしたりしたそうです。こうつき川にえ戸時代からかかる5つの石橋のうち、新上橋と武之橋が流失しました。あんなに大きくて立ばな橋が流されてしまうほどに水の力とはおそろしいものだと知りました。

先月には、しずおか県でも雨がいっぱいふった後に、いず山土しゃさい害がおこりました。山から流れてきた土石流が家や車をおし流すえいぞうは、まるでえい画を見ているかのようで、げん実とは思えませんでした。家の中にいた人や外を歩いていた人は大丈夫か心ばいになりました。どうなったか気になったので調べてみると、22人も亡くなっていてまだゆくえ不明者が5人もいました。この5人がぶ事に助かっていたらいいです。学校で配られたぼうさいノートには、土石流がおこりやすいのは、1時間の雨りょうが50ミリい上で滝のようにふる時と書いてありました。ひなくんれんの時は、気をつけようと意しきするけれど、雨がふらない日が続くと頭から消えてしまいます。そこでもう一度私たちが気をつけることを家族で話し合ってみました。まず私に出来ることは、①天気よほうをきちんと毎朝チェックする。②大雨のよほうの時は、できるだけ外に出ない。③道が川のようになったら高いところにひなんする。④私たちの住む町のきけんな場所を調べておく。ぼうさいノートにもこれらのことをメモしておきたいと思います。

いつも私はさい害のニュースが流れると、こわくて目をそらしてしまいます。考えるのもこわいです。でもぼうさいについてどんな行動をとればいいのか正しく知っておけば、命を守ることが出来るかもしれないし、みんなを守ることが出来ます。大切な命のために、つねにぼうさい意しきを持ってすごしたいです。